（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot基山			
○保護者評価実施期間	令和７年　１２月　１日	～	令和７年　１２月　２０日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4名	（回答者数）	3名
○従業者評価実施期間	令和７年　１２月　１日	～	令和７年　１２月　２０日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9名	（回答者数）	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和　８年　１月　１５日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動プログラム（戸外での運動メニューや室内サーキットメニュー）を取り入れた活動を行っている。	姿勢保持や集中力などの課題に対応する為、整える支援（感覚統合）を行う。	社内研修や外部研修に参加してスタッフのスキルアップを図り、更に子ども達の課題に着目した支援の取り組みに繋げる。
2	視覚的支援を取り入れている。 ①パーテーション及び個室を利用して活動のエリア分け ②スケジュールを視覚的に提示することで活動の見通しを明確化にする。	子ども達が活動の見通しを持ち、自分で出来るように、スケジュールを提示して安心できる環境を整えている.	個々に応じた支援の提供が出来るようにスタッフの向上心及びスキルアップを目指してミーティングを密に進める。
3	相談を含めて保護者と密に話す時間を設けて対応している。（対面及び電話）	送迎時の保護者の様子（表情や子どもに対する接し方）を観察して保護者のストレスが見られないか確認する。 その様子を朝礼で他スタッフと情報共有して保護者へのサポート法を検討します。必要に応じて個別で話をする機会を設けている。	家族支援加算を定期的に活用して保護者へのサポートをより充実したものにする。 将来を見据えた話し合いが必要な場合は、関係機関を含む担当者会議を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の保護者伝達の不十分さがある。	出席日以外の活動の様子がぽっと便りだけでは十分ではない部分もある為、お知らせの仕方の見直しも必要になる。	出席日の活動に関しては連絡帳や送迎時に話をするが、利用日以外での活動の工夫など伝わりにくい部分もある為、個人情報に留意しながらSNS等も活用して当事業所の支援内容を伝わりやすいように知らせる。
2	施設が建物２階部分の為、不便さもみられる。	施設が建物２階部分にある為、階段が危険な場合もある。	送迎の際の階段昇降が厳しい方への個別配慮や歩行が安定しない子どもへの個別対応をしている。 日頃より階段昇降時のルールを習慣にするように対応をしている。
3			